BADMINTON AICHI

バドミントン愛知

No. 154

令和3年10月　発行者／愛知県バドミントン協会　編集者／広報委員会

第73回愛知県総合バドミントン選手権大会

令和３年６月６日(名東SC)、６月13日(ASCOM愛知製鋼体育館)、７月３日(中村SC)、７月10日(稲永SC)に、延べ320名の参加選手により熱い戦いが繰り広げられた。

男子シングルス優勝　野田悠斗選手(ジェイテクト)

シード選手が全て姿を消す混戦を制した。決勝は西野勝志選手(東海興業)の粘りを振り切り、最後まで攻撃の手を緩めず見事な勝利を収めた。

女子シングルス優勝　海老澤 花選手(東海興業)

第1シードで順当に勝ち残った勢いのある久湊菜々選手(岡崎城西高校)に、自分のプレーをさせない冷静な試合運び、クレバーなプレーが光った。

男子ダブルス優勝
(左)小林晃選手(右)宮嶋航太郎選手(ジェイテクト)

決勝は同チーム対決。市川和洋・馬屋原大樹ペアを攻守共に圧倒し、初の栄冠を手にした。

女子ダブルス優勝
(左)井上洸選手(右)肥田木あかり選手(東海興業)

前回大会と同じ対戦となったチーム内決勝戦。ファイナルゲームが続き疲れを隠せない杉山利奈・園田絵理奈ペアに、自力で雪辱を果たし、リベンジに成功した。

混合ダブルス優勝
(左)井上洸選手(右)西野勝志選手(東海興業)

ベスト4が全て東海興業。決勝は森田浩平・杉山利奈のベテランペアの粘りとの戦い。持ち味のパワーと技が僅かに上回り、接戦を制して初優勝した。

久湊菜々選手(岡崎城西高校)インターハイ初優勝！

８月９日から13日、富山県高岡市と射水市で開催されたこの大会シングルスで、*本県代表として男女通じて初めて優勝の栄冠を勝ち取った。

*愛知県出身選手としては過去に野尻野選手(福島・尚志高校)が優勝している

女子シングルス

第３シード枠で１回戦から準々決勝まで危なげなく全てストレート勝ちの久湊選手。準決勝はノーシードから勝ち上がってきた１学年下で全中優勝経験もある明智陽菜選手(柳井商工・山口)との対戦となり、持ち前のスピードとラリー力を活かして積極的に攻め、21-18、21-14のストレートで下した。決勝は、準決勝で明知選手と同じ柳井商工の水津愛美選手をファイナルゲームの末に下した舛木さくら選手(作新学院・栃木)と対戦した。シングルスの実力に定評のある舛木選手。接戦も予想されたが、序盤から攻め続けた久湊選手が終始主導権を握り１ゲーム目を21-10で取った。２ゲーム目もいい形で入りインターバルまでに７点差をつける。そのまま19-10まで行った後、相手が粘りを見せ追い上げられるも21-16で優勝を決めた。結果、個人戦でのシングルスは全てストレート勝ち、学校対抗戦でもシングルスは全勝で大会を終えた。

久湊菜々選手の喜びの言葉

久湊菜々選手

「この優勝は、家族、監督、コーチを初めとする多くの方々の支えがあっての結果だと思っています。自分を応援して下さった皆さん、本当にありがとうございました。

優勝した時はもちろん嬉しかったです。ですが、今まで勝てなかった選手と直接対決しないまま、勝っていない自分が優勝していいのかとも思いました。素直に喜ぶことが出来なかったのは、勝利に自信が持てなかったからだと思います。今後は足りない部分を高めていき、この結果に見合う実力を付けていきます。

来年から実業団に入ることも決まって、今後は格上の選手と戦う機会が多くなります。自分のレベルをもっと上げて、将来は日本のトッププレーヤーとして世界でメダルを取れる選手になりたいです。」　（高体連　大村悠介）

お祝いのメッセージ

岡崎城西高校顧問　藤井珠希 先生

「優勝おめでとう。高校３年間、なかなかうまく行かない時期や、新型コロナウイルス感染症の為、練習ができない、試合が中止になるなど多くの困難がありました。その中でも努力を積み重ね成長しました。様々な状況に対応し、最高のパフォーマンスを発揮したインターハイ。持ち味のスピードを活かした､攻撃的なプレーで勝ち取った優勝でした。これから新しいステージに進み、経験したことのない困難にぶち当たることもあるでしょう。どんな時でも、立ち止まることなく、更なる高みを目指して下さい。愛知県バドミントン協会を始め、ご支援下さった多くの皆様、心より感謝申し上げます。」

はりーあっぷジュニア代表　中口直人 氏

「小学校時代のダブルスでの優勝から、３年前の全中準優勝に続いて着実に力をつけ、ひとつひとつ実績を積み上げながら成長していく姿を頼もしく、また嬉しく思っている。卒業後は実業団に入り、実力者たちとしのぎを削ることとなる。新しい舞台で更なる成長と活躍を遂げ、パリ五輪やアトランタ五輪の日本代表ナショナルチームのトッププレイヤーとして活躍する姿を楽しみにしている。優勝おめでとう！」

理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長　朝倉　康善

令和３年度も半年が経過しました。上半期を振り返りますと、依然として新型コロナの影響を受け、６月に予定しておりました全国社会人クラブ選手権大会や全日本実業団選手権大会は中止となりました。その一方で明るい話題として、８月のインターハイ女子シングルスで久湊菜々選手(岡崎城西高校)が優勝し、また、団体戦では男子名経大市邨高校と女子岡崎城西高校が共に５位入賞を果たしました。選手の頑張りは勿論ですが、これまでご支援をいただいた多くの皆様に改めましてお礼を申し上げます。さて、来る11月６日は、当初Ｓ／Ｊリーグ2021の開幕戦をスカイホール豊田にて予定しておりましたが、諸々の事情により中止となりました。代替大会として愛知県協会の企画で｢公益財団法人豊田市スポーツ協会設立70周年記念 バドミントンＳ／Ｊリーグ2021スペシャルマッチin愛知｣を開催する準備をしております。このイベントは東海興業、ジェイテクトをはじめとする地元愛知に拠点を置くチームと、日立情報通信エンジニアリング、ヨネックス(女子)等の全国の強豪チームが集い、大変高いレベルの試合が終日繰り広げられます。皆様に是非とも会場にお運びいただき、手に汗握るシーンを間近でご観戦いただきたいと思っております。楽しみにしていて下さい。

特集　明日へ駆ける

第37回　若葉カップ全国小学生大会　女子団体NOCKが３位入賞

７月17日から19日京都府長岡京市にて開催されました。今年度は新型コロナの影響で、競技日程の短縮、１複２単での団体戦、また負ければ終わりのトーナメント方式に変更となりました。例年であれば選手の人数が足りないため参加できない愛知県予選大会で優勝し、愛知県代表として全国大会に臨みました。

初出場の選手たちは、初戦こそ緊張していましたが、試合を重ねる毎にチームワークも増し、１人１人のたくましい成長を感じました。６年生の二反田、松久保のダブルス、５年生の河村、大串のシングルスの役割分担を徹底する戦略で挑み、それぞれがしっかりと自分の役割を果たしました。初出場で３位という快進撃。この夏最高の贈り物を手にしました。今後は準決勝で敗れた悔し涙を忘れず、頂上を目指して取り組んでいきます。最後に、コロナ禍という状況の中、大会を開催して頂きましたすべての関係者の皆様に感謝申し上げます。

（NOCKコーチ　二反田貴幸）

JOC大会ジュニア新人の部選手選考会

２年ぶりの開催となった今年度の選考会は７月10日、名古屋市稲永スポーツセンターにて、県総合と同時開催されました。新人（中学１、２年生）の県内有力選手が、全日本ジュニアバドミントン選手権大会（新人の部）への出場権獲得を目指し、男女シングルスに出場しました。

男子は第１シードの長束翔太（治郎丸中）、第２シードの櫨彪斗（大府南中）が順当に勝ち上がり、決勝戦で、長束が櫨を２-０で下し、優勝を決めました。今大会から２位決定戦の制度を導入したため、櫨は２位決定戦へ回り、三ツ石幸太（有松中）と対戦。２-０で勝利し、２位を確定させました。

女子は、竹内亜美（碧南東中）が第３、第２シードを破り決勝へ進出。決勝戦は第１シードの伊藤菜央加（西枇杷島中）との対戦となりました。伊藤が安定した強さを見せ、２-０で快勝し優勝を決めました。２位決定戦は準決勝と同一対戦となったので実施されず、竹内の２位が確定しました。男女とも、新人とは思えない力強いラリーと競り合う展開が多く、非常にレベルの高い大会となりました。

すでに推薦枠で出場を決めている山脇弘奨（金屋中）を含め、それぞれ優勝、準優勝の５名が上位大会への出場権を手にしました。しかし、大変残念ながら感染症の広がりを受けて、全日本ジュニアは開催中止となってしまいました。本大会で出場権を得ていた選手たちにとって大変辛い決定ですが、今後の活躍に期待しましょう。

（愛知県中小学校体育連盟バドミントン部　部長　大島健太）

バドミントンプロショップ
リーダース グループ
SINCE1979

大府
JR 大府駅西口徒歩８分
はりーあっぷ
代表　中口直人
TEL(0562)44-5529　FAX(0562)44-5594

名古屋一社
地下鉄一社南出口より徒歩２分
(有)リーダース
代表取締役　菱田修光
TEL・FAX(052)703-2767

愛知のホープ

古舘菜々美（ふるたちなな み）（大府市立大府北中学校3年）　小澤芽依（こざわめい）（大府市立大府北中学校2年）

（左）古舘菜々美・（右）小澤芽依

ふたりとも、小学校の低学年からバドミントンを始めました。別のクラブチームで練習をし、それぞれ全国大会に出場するなど素晴らしい経験したふたりが、大府北中学校に入学し、チームメイトになります。

しかし昨年度はコロナウィルス感染症の影響でほとんどの試合が中止となり、ふたりが公式戦でダブルスを組むことも、団体戦でともに戦うこともできませんでした。何とか開催された今年度の夏の大会は、地区大会で優勝し、県大会へと進出しました。県大会では、実力がなかなか発揮できず、苦戦する場面が増え、特に第１シードペアとの決勝戦は、競り合った１ゲーム目こそ勝ちましたが、２、３ゲーム目を取られ準優勝で終わりました。東海大会へ出場を決めたものの悔しい思いが残りました。

リベンジを決意した東海大会、２回戦の三重県のペアとの試合が大きな分岐点となります。ファイナルゲームのマッチポイントを先に取られ、絶体絶命のピンチに陥りますが、そこから驚異的な集中と追い上げを見せ逆転勝利を収めました。この試合をきっかけにふたりの動きが見事にかみ合い、優勝することができました。

地区大会が始まった頃はダブルスペアとしては未熟だったふたりが、幾度ものギリギリの試合を経験し、その度毎に目を見張る成長をし、ついに全国大会への切符を勝ち取りました。３年の古舘は引退し、ペアは一旦解消されますが、それぞれがこの夏の経験を活かし、新たな活躍をすることでしょう。

（愛知県中小学校体育連盟バドミントン部　部長　大島健太）

フットワーク

此の欄は、連載物のコーナーとして県内各チームの紹介やその他の記事を皆さんに続けてお届けするコーナーです。
今回は **名古屋大学バドミントン部** を紹介します。

今はどこを見ても「コロナ」の文字ばかりです。これだけ時間が経っても終息しない状況なので、やはり７大戦は中止になりました。７大戦は旧帝国大学間で競う総合体育大会です。名古屋大学バドミントン部にとって、年間で最も大切なイベントであり、４年生の引退前最後の大会でもあります。この大会のために日々寸暇を惜しんで練習してきたと言っても過言ではありません。その大会が中止になり、多くの選手が肩を落としました。４年生は不完全燃焼のまま引退です。しかしながら、４年生はその大きな目標を失ってもなお、現役生に多くのことを教えてくれています。現役生はこれを必ず今後の活躍に繋げなければなりません。

名古屋大学バドミントン部は縦の繋がりが根強く、先輩方から多くを学べます。この環境に感謝し、より高い水準でバドミントンができるよう今後も部内全員で熱心に努力してまいります。

委員会NEWS

指導委員会

公認コーチ１・２の資格更新のための更新研修会を７月24日パークアリーナ小牧にて開催しました。講師を中口直人氏にお願いし、午前中は講義室で『バドミントンキーワードと「打つ、動く、戦う」－「心、技、体」の関係』の資料に沿って、スポーツバイオメカニクスに基づいた動作、フォアードスイングとラギングバック、自由度の保証など、多くの話題を解説。さらに「上手いと強い」の違い、指導法の紹介もあり、盛りだくさんの講習内容となりました。午後は体育館へ移動し、講義内容の実演とバックハンドの技法などの講習を行いました。

当日は猛暑の中でしたが、コロナウイルス感染拡大防止対策をして無事に終了することができました。

講習風景

実習風景

審判委員会

今年度の活動目標は以下の４項目です。

(1)公認審判員資格者の増員とルール全般の理解・普及

(2)審判リーダー(県内レフェリー・上級資格・国際資格など)の養成

(3)東海地区以上の県内開催大会での堅実な審判活動

(4)基幹業務の効率化推進

a.資格取得及び更新申請に関する事務作業の迅速な対応の実施

b.審判手帳廃止に伴う会員サポートシステム利用の案内と普及拡大

会員登録、審判員や指導員の資格登録・更新と会員証(カード)廃止に代わり、会員情報の照会方法等を案内します。

競技委員会

現在、愛知県に新型コロナ感染症防止に関する緊急事態措置が発出されています。それに伴い、８月28日より開催する予定でした第139回秋季新人大会を中止といたしました。さらに、全日本社会人、全日本シニア等の全国大会についても中止が発表されています。

そんな中ですが、11月６日(日)にバドミントンＳ／Ｊリーグ2021スペシャルマッチin愛知を開催するため準備を進めています。Ｓ／Ｊリーグのトップチームの対決や、地元愛知県勢との対戦を予定しています。豪華賞品が当たる抽選会も予定しています。コロナ感染症対策もしっかり行いますので、手に汗握る試合を是非、真近でご観戦下さい。

連盟NEWS

高等学校体育連盟バドミントン部

８月に富山で開催された２年ぶりのインターハイでは女子単の久湊をはじめとして、愛知県勢の躍進が見られた。

学校対抗戦には男子名経大市邨、女子は岡崎城西が出場し、市邨は初戦の２回戦を危なげなく勝ち、３回戦は複２試合を共にファイナルゲームの末１勝１敗と分け合い、単を２つ取りベスト８を決めた。

準々決勝では準優勝した埼玉栄相手に結果こそ全てストレート負けではあったものの、ゲームごとに見れば粘り強いラリーを見せ見ごたえのある試合であった。城西は２回戦、３回戦をシングルスの強さで勝ち上がり、第３シードの倉敷中央に敗れた準々決勝も単３までもつれ込む接戦であった。

個人戦でも市邨の男子はシングルスで阿保、冨田がともにベスト16、さらにダブルスでも阿保・上田組がベスト16に入った。冨田は２年生なので選抜、来年の総体での躍進が期待される。女子もシングルスで優勝した久湊に加え、同じ岡崎城西の梅田もベスト16に残るなど目覚ましい活躍であった。

小学生バドミントン連盟

◆第39回愛知県小学生バドミントン大会

６月12日（土）常滑市体育館にてシングルスを、７月23日（金）メディアス体育館おおぶにてダブルスを行いました。どちらも大会毎にコロナウィルス感染防止を徹底し、感染者を出すことなく無事大会を終えることが出来ました。

シングルス大会は446名が参加。どの学年も上位になるほど競り合う試合が多く、時間内に全試合を終えることが難しくなったため、６年生女子の準決勝以降の試合は７月23日に順延となりました。

ダブルス大会は196組392名の選手が参加。今大会は５・６年生で初めてペアを組んで参加した選手たちが多く、東海大会出場の切符を初めて手にした選手も目立ちました。

今年度の東海大会は愛知県で開催。10月10日（日）メディアス体育館おおぶで行います。愛知県の代表選手は12月25日～29日福島県で開催予定の「第30回全国小学生バドミントン選手権大会」出場を目指して頑張ってほしいです。

単の部

種目	優勝	準優勝
4年以下男子	玉城春真 （西尾ジュニア）	角倉蓮太 （西尾ジュニア）
5年男子	清水碧 （岡崎ジュニアB.C）	世古創麻 （はりーあっぷジュニア）
6年男子	山本櫂利 （アドバンスジュニア）	山本翔大 （たんぽぽB.C）
4年以下女子	佐々木きい （T-Jump Jr.）	山脇咲星 （はりーあっぷジュニア）
5年女子	樫尾雫玖 （大里東ジュニア）	河村珠莉奈 （NOCK）
6年女子	井上梨海 （大里東ジュニア）	田中依夢 （T-Jump Jr.）

複の部

種目	優勝	準優勝
4年以下男子	青山大都　米谷蕾人 （はりーあっぷジュニア）	小野春陽　大松谷勇成 （T-Jump Jr.）
5年男子	坂本羽琉　粂野駿 （SGUジュニアバドミントンクラブ）	坂野開俐　石川剛 （はりーあっぷジュニア）
6年男子	石川隼　池田純一朗 （はりーあっぷジュニア）	仁枝琥多郎　彦田煌 （西尾ジュニア）
4年以下女子	柴富可弥　松井理紗 （めだか豊橋バドミントンスポーツ少年団）	清水明　後藤凜 （岡崎ジュニアB.C）
5年女子	本橋歩奈　濱見杏奈 （アドバンスジュニア）	蔡瑄　中西菜緒 （はりーあっぷジュニア）
6年女子	二反田稟花　松久保ひかり （NOCK）	山本実生　小林礼奈 （石ヶ瀬スポーツ少年団）

6年男子シングルス

6年女子シングルス

6年男子ダブルス

6年女子ダブルス

学生バドミントン連盟

第69回愛知学生バドミントン選手権大会を開催いたしました。コロナウイルスに関する状況も好転せず、細心の注意を払いながらの開催になりました。具体的には、感染拡大防止に関するガイドラインを作成し、Googleフォームを用いた選手の状況の管理、検温や定期的な換気、除菌などを行いました。それでも中には意識の低い選手もいて、運営側としては現状を重く受け止め、どう意識してもらうかが次の大会開催に向けての課題となっています。より時間をかけて話し合い、自分たちが行うことができる最大限の対策を練っていく所存です。

中小学校体育連盟バドミントン部

４月24・25日に約１年ぶりとなる第46回愛知県中学生バドミントン大会を開催しました。感染症対策のため、例年とは雰囲気がかなり違いましたが、県内の２・３年生が熱戦を繰り広げました。

また、７月30・31日の第75回愛知県中学校総合体育大会では、各地区の予選を勝ち上がった選手たちによって、初戦から白熱した戦いが見られました。団体戦では、男女ともに２位決定戦を行うほどの接戦でした。

個人戦で勝ち上がった選手たちは、東海大会に進み、目覚ましい活躍をした多くの選手が、さらに先の全国大会へのキップを手にしました。

市町村だより

一宮バドミントン協会

◆一宮市民夏季バドミントン大会

７月18日、一宮市総合体育館にて前回同様コロナ対策を行い開催されました。参加者は184ペア。猛暑が予想されたことから１日中空調を入れたまま行いました。そのため、体力の消耗は抑えられましたが、シャトルが失速や横流れをし、対戦相手よりも会場との闘いとなっていた感じもあります。上手く対応できたペアが結果を残す形となりました。

男子１部 優勝（竹内、近藤ペア）
- 1日楽しくバドミントンができたことに感謝します。また参加します。
- 最後まで集中してプレイし、優勝できてよかったです。

女子１部 優勝（杉江、脇田ペア）
- ３年越しの夢が叶い、うれしいです！！

男子		優勝	準優勝	3位	
１部		竹内誠一郎 近藤　峻矢	小竹　剛生 竹岡　房樹	大里　　渓 後藤　弓人	阿部　慎也 井上　聖悟
２部		松原　伸幸 諏訪　法男	伊藤　克将 土井　基裕	井上　椋介 及川　孝久	柴田　京将 大野　聖弥
３部	Aゾーン	織田　敏史 永縄　和大	宮地　有紀 舟橋　直宏	関谷　光司 岩田　宗大	川口　卓也 吉田　大樹
	Bゾーン	森　　哲志 西村　和也	島田　善敬 松本　元気	大宮　遼斗 岡崎真渚翔	中　　利夫 浅野　光弘
初心者		田邉　裕太 川西　拓登	杉山　広一 関口　海翔	大河内誠也 酒井　　航	信原　　司 伊藤　　浩
シニア		雨奥　勝磨 北島　佳典	野木　秀樹 横山　昌弘		

女子	優勝	準優勝	3位	
１部	杉江紗矢香 脇田　乃幸	辻　　結菜 田瀬　史佳	藏　　捺子 松井美紗紀	
２部	平下ゆう子 丹下　美樹	利國　愛美 近藤祐香子	林　紗耶加 正力　　唯	竹内さくら 石原　有華
３部	杉山　靖子 杉山　莉子	原　　愛佳 橋本　織音	三浦　菜月 平田優妃乃	加藤　愛菜 伊藤　史華
初心者	石井　明子 上間　令子	青島　愛莉 野澤　陽菜	山田あかり 柴田　佳音	
シニア	濱田明日香 山根　洋子	松永　周子 原　　陽子	加藤　典子 井口勢津子	三島喜代美 今枝　理恵

テニス・バドミントン専門店
ラケットショップ NONAKA
名古屋市千種区内山町３丁目28番２号
TEL〈052〉741-3537

春日井市バドミントン連盟

連盟の活動のひとつに、春日井市や関係施設より委託を受けて教室事業を行っています。今年度予定していた、坂下公民館講座「はじめてのバドミントン」（５月～７月、全６回）は実施できましたが、総合福祉センター講座「ジュニアバドミントン教室」（９月、全４回）と、レディアン春日井講座「バドミントンを楽しもう」（10月全３回）は、新型コロナ感染症の影響で延期になりました。

バドミントン講座参加者

豊田市バドミントン協会

◆第35回市民団体バドミントン大会（秋季団体戦）

令和３年９月４日（土）スカイホール豊田で開催しました。徹底した新型コロナ対策を講じ、無事終えることができました。参加チームは例年に比べ減少はしたものの大いに盛上りました。

男子の部	優勝チーム
1部	とりほしギャング
2部	ひよっこ
3部	バディダス
4部	スガキヤ+b
5部	Tam Tom
6部	ち～むAT

女子の部	優勝チーム
1部	G.spank
2部	バディダスA
3部	猿投農林高校
4部	レインボー

男子1部優勝：とりほしギャング

女子1部優勝：G.spank

スポーツごころを世界に。
YONEX

お知らせ

S／Jリーグ2021スペシャルマッチin愛知
11月6日　スカイホール豊田にて開催！

このイベントはS／Jリーグ2021大会の開幕戦の代替試合として、地元愛知県に拠点を置く４チームに、県外の強豪チーム４チームを招き、男女とも日本トップレベルの対抗戦を「豊田市スポーツ協会 設立70周年 法人化40周年記念」大会として行います。

出場チームは以下の通り。組合せ等詳細は公式サイトでご確認ください。

出場チーム　男子の部

日立情報通信エンジニアリング
三菱自動車京都
東海興業
ジェイテクト
豊田通商
トヨタ自動車

出場チーム　女子の部

YONEX
ACT SAIKYO
東海興業
豊田通商

編集後記

東京オリンピック、パラリンピックが終わりました。余り盛り上がらなかったバドミントン競技ですが、パラリンピック最終日辺りにはメダルラッシュの吉報が…。人知れずの努力が垣間見えて胸が熱くなり、応援にも力が入りますね。1面記事の久湊選手、パラでは名電高校出身の今井選手（9／4中日新聞掲載）など、オリ・パラの垣根を越えて、世界で活躍する日も近い地元選手の成長を暖かく見守りましょう。３年後のパリ五輪、パラリンピックが楽しみです。（広報委員　山本真弓）

審判連載 ルールブック講座

第1回　「定義」

池上　信之

新連載を担当します、審判委員会の池上です。皆さんがプレーや審判をしていて「この場合、どうするの？（どうなるの？）」と疑問に思うこと、そんなことをルールブック（赤本）の観点から情報発信していきます。

さて、多くの皆さんがテレビなどで、東京オリンピックを観戦したことでしょう。バドミントン競技は男女シングルス、男女ダブルス、混合ダブルスと５種目が行われました。では、素朴に「シングルス」「ダブルス」とは、何でしょうか？

☆競技規則　定義

「シングルス」相対する２つのサイドにおいて各々１人のプレーヤーで行うマッチ（試合）

「ダブルス」相対する２つのサイドにおいて各々２人のプレーヤーで行うマッチ（試合）

ルールブックにはこのように定義されています。「シングルス」「ダブルス」を、「いざ説明する」となると、ちょっと戸惑いますよね。普段何気なく使っている「プレーヤー」「マッチ」「ラリー」「ストローク」などもそれぞれ定義されているんです。久しぶりに「赤本」を開いてみませんか？

連絡　投稿

〒477-0033　東海市中の池6丁目2−27
広報委員長　　上枝　伸
携帯　090-2938-2868

公式サイトアドレス
https://www.badminton-aichi.com/
Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com

勝つための本物
GOSEN®
www.gosen.jp
株式会社ゴーセン　大阪本社／TEL.06-7175-7116　FAX.06-6201-0741

西三河のバドミントン専門店
モリタスポーツ
豊田市山之手3丁目100番地
☎〈0565〉29−0055